

当会推薦マスター3名とジュニア2名が受賞

国交省の建設マスター&ジュニアマスター顕彰

国土交通省が主催して、平成28年度の「優秀施工者（建設マスター）国土交通大臣顕彰式典」並びに「青年優秀施工者（建設ジュニアマスター）土地・建設産業局長顕彰式典」が10月7日、東京・芝公園のメルパルクホールで開催された。

同日の顕彰式典では、開会あいさつの後、平成28年度の建設マスター顕彰受賞者415名（うち、女性は8名）に対し、国土交通大臣の代理の国土交通大臣政務官から記念バッジと顕彰状が贈られた。続いて、建設ジュニアマスター顕彰受賞者106名（うち、女性は6名）に対し、国土交通省土地・建設産業局長から顕彰状が贈られた。

自家発電設備業界からは、優秀な「機械器具設置

工」として内発協が推薦した建設マスター顕彰候補者3名が、建設ジュニアマスター顕彰候補者2名がいずれも受賞した。同日、顕彰式典の前に、受賞者一行は内発協を表敬訪問した。

（7ページに受賞者一覧）

その後、受賞者のお子さん等からの作文を司会者が朗読した。式典の後、同じ会場で、国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会が主催して、社会人を対象に募集した「私たちの主張」と「高校生の作文コンクール」の受賞者紹介が行われた。平成28年度は各2名の合計4名が受賞した。受賞者4名がそれぞれ登壇し、順次、作文を朗読した。

顕彰式典の冒頭、主催者を代表して、公務のため



建設マスター顕彰式典の会場



国土交通大臣の祝辞を代読する根本幸典氏



国土交通省から政務官ら3名が出席した



建設マスター顕彰審査委員会の委員ら

に欠席した衆議院議員で国土交通大臣の石井啓一氏に代わり、衆議院議員で国土交通大臣政務官の根本幸典氏が石井国土交通大臣からの祝辞を代読した。続いて、優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会の委員を務める異文化コミュニケーターのマリ・クリスティーンさんが祝辞を述べた。

クリスティーンさんは、「晴れて建設マスターとなった皆様は常に建設現場の第一線で施工に従事し、卓越した技能・技術を有している、ものづくりの名人です。建設ジュニアマスターとなった皆様は次世代の建設現場の担い手として活躍が期待される、優秀な青年技能者です」と述べた。

その上で、「皆様には自己研鑽とあわせて、技能・技術の伝承にも努めて頂きますよう希望します。今回は建設マスターとして女性8名が、建設ジュニアマスターとして女性6名が選ばれました。特に女性技能労働者にスポットライトが当たるよう技能・技術の伝承をよろしく願います。皆様には顕彰授与を糧に、今後ますますの発展をお祈りします」と

述べた。

【建設マスター顕彰受賞者】

▶清水功（しみず・いさお）氏／男性／59歳／東京都大田区在住／株式会社ハタノシステムサービス部第1グループ課長代理。

▶軸丸順次（じくまる・じゅんじ）氏／男性／59歳／滋賀県守山市在住／ダイハツディーゼル株式会社CS推進事業部グローバルサービス部技術サービスグループ主任。

▶中嶋道嘉（なかじま・みちよし）氏／男性／44歳／茨城県龍ヶ崎市在住／株式会社第一テクノ発電システム本部課長。

【建設ジュニアマスター顕彰受賞者】

▶及川勝司（おいかわ・かつし）氏／男性／36歳／埼玉県草加市／株式会社ハタノシステムサービス部第2グループ課長代理。

▶西原聡（にしはら・さとる）氏／男性／35歳／福岡県福岡市在住／ダイハツディーゼル西日本株式会社技術サービス部係長。